

2008年10月 10日
MR/J43/08



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京都渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

コロンビア共和国のフランシスコ・サントス副大統領 国連大学で「共有責任」について講演

内容： コロンビア共和国フランシスコ・サントス副大統領とのコーヒータイトム
テーマ： 「共有責任」（違法薬物によって引き起こされる環境問題への対策）
日時： 2008年10月28日（火） 午前10時～12時
場所： 国連大学本部5階、エリザベス・ローズ国際会議場（渋谷区）
主催： 国連大学（UNU）、米州開発銀行駐日事務所、コロンビア共和国大使館

- ・ 10月28日、国連大学は「コロンビア共和国フランシスコ・サントス副大統領とのコーヒータイトム」を開催。本イベントでは、2005年からコロンビア政府が中心となって行ってきた麻薬撲滅イニシアティブ「共有責任」についてサントス副大統領が講演を行う。
- ・ 共有責任イニシアティブは、コカインの生産、密輸、消費が（家庭、公衆衛生、社会、国の安全保障、および環境に）もたらす世界的な脅威の解決法を見つけるため、コカインの生産国と消費国がともに協力することを目指しており、サントス副大統領はその積極的な推進者である。講演では特に、コカインのような違法薬物が環境に与える悪影響を取り上げる。*
- ・ 近年、サントス副大統領は省庁の代表者、非営利組織や非政府組織、関係政府機関、研究メンバーや一般市民に、共有責任というコンセプトについて一連の講演を、世界中で行っている。
- ・ 英日通訳あり。参加できない方のために、この講演はウェブキャスト (<http://c3.unu.edu/unuvideo/?206>) でもライブにて閲覧可能。
- ・ 共有責任イニシアティブについて、詳しくは<http://www.sharedresponsibility.gov.co>を参照のこと。

取材をご希望される方は、お手数ですが、下記担当者までお知らせください。
国連大学広報部、担当：谷野（ヤ）（電話：03-5467-1311；メール：media@unu.edu）

サントス副大統領について

フランシスコ・サントス・カルデロン氏は、2002年にコロンビア共和国副大統領に選出前は、ジャーナリストとして、また編集者として、有力紙「エル・ティエンポ」に勤務。米国のカンザス大学とテキサス大学で学び、1980年代後半にはコロンビアの様々な大学で、ジャーナリズムと米国・ラテンアメリカ関係についての教鞭をとった。1990年、数人のジャーナリストと共にメデリン麻薬カルテルに誘拐され、約8か月間人質となる。解放後は、ニーマン・フェローとしてハーバード大学で一時期を過ごした後、ボゴタへ戻り、誘拐の犠牲者とその家族を支援する「バイス・リブレ（自由な国家）」という組織を立ち上げた。現在、コロンビアの副大統領として二期目を務めている。

* コカインの原料となる植物、コカの違法栽培が原因で、毎年コロンビアでは推定20万ヘクタールの熱帯雨林が破壊されている（見つからないよう栽培地を移動するため）。コカイン1gを生産するのに熱帯雨林4平方メートルが破壊される。さらに、コカを使って麻薬を作る施設は有毒化学薬品を水系に流出するため、汚染が広範囲に広がっている。